

洋書輸入協会会報

VOL. 3

NO. 5

昭和44年5月

定時総会報告

4月23日(水)午後2.00~4.30 於日本出版クラブ

- (一) 出席35社 委任状16社、計51社により総会成立。
- (二) 司会として洋販渡辺氏指名。
- (三) 理事長代理、丸善中田氏挨拶。

過去一年間多事多難であった。国際的には通貨不安の問題より西独に Export Tax が設定され、国内的には大学紛争によって我々業者は大きな負担を強いられている。

このような状況にあっても尚、我国の貿易収支は30億ドルの黒字を示し、洋書の需要も増大しつつある。我々は、我国文化向上のために、ビジネスのみならず大局に立って貢献をしてゆきたい。

四 規約改正の件提案。(紀伊国屋・相良)

現行洋書輸入協会規約を次のように改正する。

才15条二行目「定時総会は毎年5月開し、……」とあるものを、「定時総会は毎年四月開催し……、」と改正する。

同条五行目「懇談会は原則として毎月一回開催し……」とあるものを、「懇談会は必要に応じ年数回開催し……」と改正する。

以上審議の上承認。

五 事業報告

- (1) 理事会・総務・通関・British Week・大学紛争対策の各委員会報告(丸善・関口氏)
- (2) 会報委員会報告(紀伊国屋・相良)
- (3) 渉外・PR委員会報告。(U S・山川氏)
- (4) 経営研究委員会報告。(東光堂・石内氏)
- (5) 雑誌資料委員会報告。(日貿・井出氏)
- (6) 雑誌欠号委員会報告。(海外出版・三原氏)
- (7) 洋書交換委員会報告。(国際・服部氏)
- (8) 価格査定委員会報告。(三洋・伊部氏)
- (9) 文化厚生委員会報告。(洋販・渡辺氏)
- (一) 昭和43年度決算報告。(丸善・関口氏)
- (二) 監査報告。(竹内書店・竹内氏) 審議の結果、承認。
- (三) 昭和44年度予算案提出。(丸善・関口氏) 及び今年度事業についての抱負開陳。(会報・洋書交換・文化厚生各委員会より)
- (四) 予算案審議。承認。
- (五) 関西支部報告及び東西合同懇親旅行の説明。(緑書房・丹羽氏)
- (六) 海賊版問題、DM問題について。(紀伊国屋・相良、ゲーテ・村山氏)
- (七) フランクフルト・ブックフェア見学の企画について(洋販・渡辺氏)

以上にて定時総会を終了。以後別室において懇親会を開催、業界発展のために乾盃の上6時に解散致しました。(相良記)

関西支部総会報告

4月16日(水)午後6.00~8.00 於全日空会館。

出席会員26社(内委任状4社)総会成立す。

支部長挨拶 昨年は洋書業界にとって内外共に多事な一年であった。又協会にとっては最初に経験した満一ケ年であったが幸い収支は一応均衡し、別項の通りの結果を見た。業界は今後も多難な年を迎える事になるうが、この際全会員が一層協力して共栄の実を挙げることを要望する。(支部長挨拶要旨)

(一) 昭和43年度事業報告並に収支計算書報告。

(イ) 會議報告 (ロ) 継続事業報告 審議の結果原案通り承認。

(二) 昭和44年度事業計画及び予算案。

事業計画 継続事業は引きついで行い、委員会を再編成し次の委員会を設置する。

(1)大学問題対策、担当社・梅田書房) (2)経営全般研究会(緑書房) (3)外国雑誌資料カタログ委員(北尾書籍)

(4)B/Nカタログ(独亜書院) (5)価格維持研究(サービス問題)(旭屋) (6)税関対策(独亜書院) (7)雑誌未着状況(緑書房)

厚生事業の内本年度の東西合同懇親旅行は関西支部担当で「伊勢志摩、わだかの温泉」決定の旨報告。審議の上原案通り承認。

以上で総会終了し引き続き懇談に入り8時に解散す。

東海懇談会総会報告

4月22日(火) 東区赤塚町「井筒」に於て定時総会開催 出席7社、欠席1社。

議事 (1) 43年度会計報告。審議の結果承認。

(2) 役員留任。幹事長 丸善暢名古屋支店長石井茂夫氏 幹事 海外出版・紀伊国屋・USエンシアテック・丸善担当 総務 丸善 文化厚生 海外出版・紀伊国屋・USエンシアテック

(3) 本年度スケジュールについて (A)6月に東西合同リクリエーション参加の件。(B)東海懇談会のリクリエーションの企画。(B)項は文化厚生担当社に一任)

(4) その他最近の学園紛争、米国港湾ストなどの影響についての意見交換。以上

理事会報告

4月10日(木)

1. 昭和43年度決算(案)の説明及検討。

2. 昭和44年度予算案二次案の説明及検討。総務委員会による一次案は、各委員会の要求を尊重した結果、収入よりも支出が上廻ることとなったので収支償うよう訂正、丸善関口氏より二次案を提出。所が、二次案としても、尚繰越金全額を収入の中に含めて考えているので、更に収縮を計るべきではないかとの意見も出て、検討の結果若干の予備費を捻出、之をもって理事会案とすることと決定。

3. 通関委員会より。Original Invoice を出来るだけ二通以上版元より取り寄せるよう努力して貰いたい旨、税関より要望を伝えられる。

4. British Week 委員会より。Mr. M. Montague より、出来るだけ British Week の雰囲気盛り上げるよう協力して貰いたいとの要望があった由。

5. 国際書房服部氏より。内外航空より、フランクフルト・ブッファエ参加を含むヨーロッパ周回旅行の企画を持ち込まれた旨報告あり。理事会として取り上げることとする。

6. 総会開催日までのスケジュールの打ち合わせ。

4月23日(水) 総会の議事進行につき協議。

文化厚生委員会報告

協会はじめての懇親ダンス・パーティーが一つ橋の如水会館でひらかれたのは、東京に4月の雪をみた2日のちの18日夜でした。いくらか肌寒さは残っていましたが、定刻近くから出足は順調で、広い豪華な会場にいささかの危惧をいっていた私ども委員もいつしかバンドのリズムにのって、間もなく踊るには絶好のスペースにうめられてゆきました。アンケートによって多数の賛意を得ましたものの、会場の都合で四百枚の会員券を余儀なくされたため、希望枚数の回答の未着のところには委員の協議で何枚かをお送りしてみたり、ご好意でおつきあいいただいたり、あるいは心配し、あるいはご迷惑をおかけして迎えた当日でしたが、広い会場いっぱいに楽しく踊るかたがたを目にしてやはり嬉しく、心の浮きたつ春のひと夜でした。

とくにフロアの良さと、それに洋販プレイ・ボーイズの抜群の演奏は特筆すべきもので、つぎの機会にはぜひ、もっと多くの皆さまに楽しんでいただけたらと思います。熱演奉仕して下さったプレイ・ボーイズの方々には厚くお礼申し上げます。また渡辺委員長はお身近の方のご不幸につき、あとにお通夜をひかえながらのご尽力でした。

会員の皆さまのご協力で、幸い会計の面でも多少の余りができましたので、また今後の楽しいプランに生かしてゆきたいと思います。積極的なご批判と有益なご意見をお待ちしています。(文化厚生委員KH記)

洋書こぼれ話 —その3—

昭和初期の大物洋書

丸善本の図書館長 八木佐吉

前号では、Britannica のことをオ7版までの略述でおわっている。しかし、それ以後のことで、やゝ重要な歴史のことがらがあるので、もう少し、この“全書”のことでおつきあい願いたい。

6版完成後、しばらくして版權所有者 Constable は“Encyclopaedia”のcopyrightをauctionにかけて売却した。それから一段階を終て版權はエデンパラの出版者 Adam Black (1784—1874) の手に帰した。こうしたなかで、オ7版は1827年に新編集に入って、1830から1842年にかけて21巻と索引7冊が完成した。これは全部新組にし、また、この頃発明されたばかりの“紙型法”もさっそく採用されている。全巻で17,100頁余りと506葉の図版を含んでいた。

オ8版は1853—1860年に出版された。21巻と索引1巻で事実上オ7版の増訂版である。或る article は徹底的に削減し、ある部分は訂正を施し、若干の新稿を補充したもので、総頁で約800を増加し、図版は逆に約100葉を減じている。ただ、新寄稿者の中に Macaulay, Kingsley その他当代の一流学者の名が多数連なったことは特筆してよい。寡聞にして、記録は探りあて得ないが、明治維新前後に、もしも、“ブリタニカ”がわが国に将来されているとしたならばこのオ8版というわけである。

オ9版は最も好評であり、また、最も価値高い版であるといわれている。1875年にオ1巻が出て以来1889年に最終オ24巻と索引編が出るまでに14年間を要している。出版社は Adam and Charles Black, Edinburgh とタイトル頁(扉)に刷込まれた。背を並べて見ると164cmもある大揃いの百科全書で、まことに堂々とした姿である。19世紀の末期を飾る大出版といえると思う。外容のみならず、内容も充実したもので、世界中の一流の学者・文筆家を総動員

した編集者・寄稿者の執筆にかかるもので充されている。ある評言に

“It was universally acknowledged to stand in the forefront of the scholarship of its time”

とあることでもその優秀さがうかがい得る。この版は出版当時イギリス国内では約9000セット余りしか売れていない。しかし、Charles Scribner社が販売権をもったアメリカでは、正規のBlack版を45,000セットを売った記録がある。正規のというわけは、このころのアメリカ合衆国はInternational Copyrightにかかわらなかった時代で、外国の出版物を勝手にreissueしても、盗版してもよかった。

ブリタニカ第9版は絶好の喰物^{くいもの}として、数出版社によってreprintされたのがseveral hundred thousands setsにのぼったからである。まあ、それ程の評判であった。

このころ(1897年) Horace E. Hooper を代表とする4名の米人グループが、英米以外世界中にこの第9版を売り弘める目的でBlack社と契約し、また、宣伝及び販売機関としてロンドンの“The Times”社と提携して、たちまち約2万セットを売るという大成功を収めた。

この“ブリ第9版”は日本でも、今までにない方法で売られた。横浜にあった“ロンドンタイムズ”日本支店と協同で丸善が行った月賦販売がそれである。4種の装幀のうちクロース装を例にとると、一時払い175円、月賦払いは195円であった。賦払い法は最初の5円を払い込むと全25巻をお届けし、次回から毎月10円宛を支払う定めであった。余程購買者を信用しないと出来ないことで、そのころとしては画期的な販売方法であった。

この当時の時事新報は「日本人の信用」と題した論説で、この予約法に言及し、一人の違約者でもあれば日本国の信用を傷け、外国人の切角の希望を空しくするものであ

会 員 紹 介

名古屋に55年

株式会社 大竹書店

東海地方に独自の存在を誇る大竹書店は、現社長大竹孝男氏の御先代大竹孝吉氏が、大正3年3月3日に設立されたもので、株式会社となったのは戦後のことではあるが、社歴55年という洋書輸入業界有数の老舗である。

専門は医学書で、サービス・エリアはとうぜん名古屋、岐阜を中心とする東海地方の各大学医学部と大病院とである。

誠実、堅実をモットーとする御先代の営業方針はいまでもそのまま守られ、顧客の好評をえている。昨年岐阜大学正門前に岐阜支店を開設し、岐阜地方におけるサービスの充満を期することができるようになったのも、そのためであろう。

東京と大阪・京都に集中している洋書輸入業界において、名古屋に本社をおかれ、地域の顧客にサービスされている点で、また専門を医学書におかれている点で、独自の性格をもった大竹書店の着実な繁栄と発展とは期して待つべきものがあろう。

る、とまでいっている。しかし、これはさしたる間違いもなく、実行されたく、丸善の記録では、締切日(明治36年2月までに1125セットを販売したとある。「学灯」の明治36年3月号にこのときの予約者名が載っていてその名をたどるだけでも興味深い。

さて、また本筋に戻らせていた。1900年頃第9版の Supplement の編集が進みつつあった。今度は A. & C. Black だけでなく、むしろ Times 社が主となって補遺の進捗が計られていた。タイムズの名編集者とうたわれた Hugh Chisholm (1866—1924) がこの編集に従事して、1902—3年に補遺11巻が完成した。この度はタイトル頁に A. & C. Black と The Times と両社の名が刷り込まれていた。

第9版にこの補遺を加えて全35巻を第10版として、新たに販売を始めた。(もちろん Supplement だけでも売った)。丸善では前と同じく、ロンドンタイムズ支社と協同して、明治38年11月から月賦販売を開始して、翌年2月の締切り迄に4500セットも売った。日露戦後、益々前向きで、世界の知識を吸収しようとしたわれわれの先輩たちの心意気がかがわれる。このとき、締切り間近に毎日のように一流新聞に全一頁の広告が出された。丸善とタイムズ社の思いきった宣伝ぶりに、当時の世間一般が驚きの目をみはったことであつたらう。

第10版はこうして、20世紀初期の代表的百科全書としてもてはやされつゝ、やがて、出版はCambridge Univ. Pr. に引きつがれ、第11版の時代になる。これからは、本誌前号で述べているので「ブリタニカ」物語りも終ることゝして、ほかの昭和初年度の大物(リストは前号参照)のことごとに進むことゝしよう。

Herder's Konversations-Lexikon はこのときは第4版で12巻。1931年から1935年にかけて完結した。Freiburg の Herder 書店がこの百科を初めて出版したのは1853—57年。第3版が1907年に完成して以来、第一次大戦を経て、約25年も改版されていなかった。大体このヘルデルは改版に間があり、現在はようやく、第5版 Der grosse

Herder, 1953—56年、10巻と1962年の補遺2巻の筈と思う。

つぎは Brockhaus である。Der grosse Brockhaus は1928—35年にかけて第15版21巻が輸入販売されている。クロス装は予約価各巻¥11.25 (23.50MK.) であった。ブロックハウスは第1版を1796—1808年に出していて、ドイツの百科としては歴史が古い方である。改版もしばしば行われていることご存じの通りで、ドイツを代表する百科全書といっても過賞ではあるまい。

つぎの Enciclopedia Italiana は Mussolini のファシスト政権のもとで、いわば、そのお声がかかりで、イタリア国王のパトロネージュで出版計画が樹てられ、編集陣は当時のイタリア学界最高学者を総動員した知識の結集である。1929年に第1巻を出して以来、1937年までに35巻を出し終り、1939年までに索引と第1補巻を追加して一応の完成をみた。この百科はイタリアの誇りともいうべきで、また、欧米のみならず、世界中で、20世紀中の最も重要な権威ある百科全書の一つでもある。

装幀の豪華さと、タイトル頁の下欄に西暦の年号と並んでファシスト年が刷り込まれていたのが、不思議と目にのこっている。代価も2,422円という、当時としては、相当高額のものであった。従って、このころのわが国の事情から大した部数は輸入されていない。

戦後は引きつがれて編纂会が新たに組織され、10 Year Supplement を1938—48 (2巻) 1949—60 (2巻) の2回出版して更新をはかっている。

Seligman 編の Encyclopedia of Social Sciences はニューヨークのマクミラン社の出版で全15巻。各冊特価16円50銭、(原価\$7.50) であった。1929—1935年にかけて全15巻が完成している。これはつい最近まで、そのまま出版されていて、社会科学の分野では、英文の唯一の大事典として参考されていたことはご承知と思う。

今回は予定の紙数がつきたので、この辺で筆を擱く。許されれば、次号で S. O. D., O. E. D., 大英博物館刊本目録、シーボルトの大著「日本」の複製版等について記述してみたいと思っている。

会 員 紹 介

良書を良心を以て

株式会社 臨 川 書 店

昭和7年10月、中国書専門店として創業。店名は「郭沫若」に命名されたもの。洋書はその当時より、中国に関するものを中心として、売買。戦後一般の洋書も古書で取扱い、本格的に新刊書を直輸入し始めたのは、昭和28年頃からである。

現在、総員40名で洋書部、日本書部、出版部の三部門からなり、主として人文科学、社会科学系を専門として、各大学に販売している。

社長武井一雄(東大・経卒)の根本的な営業方針としては、ただ単に利潤を追求するばかりではなく「良書を良心を以て出版並びに販売する」ことを目的とし、「本を扱い」「本を知り」「良書を売る」ことによって、文化に貢献するにある、とのことである。概して「RINSEN」と言えば、古書店としてのイメージが大であるが、最近では洋書新刊の販売にも頭角を現わし、定期的に Bi-Weekly にて新刊書を広く紹介し、顧客からも喜ばれている。

この社の大きな特徴としては、現品の輸入到着が早いことと、単行本、バックナンバー共に現品の手持ちが豊富であること等である。

英国出版業訪日代表团 “British Publishers’

Misson to Japan” の報告書 (その一)

昨年11月に John G. Brown 氏を団長とする13名の代表团が来日いたしました。その調査結果をまとめた報告書 “Report of the Publishers’ Mission to Japan” が送られてまいりましたので、その概要をご紹介します。

この報告書は本文51頁からなる小冊子になっており、Abstract と Recommendations 及び市場調査の概説が Appendices として掲載されており、次のような内容のものであります。

〔総論〕

日本はレベルの高い科学技術書の有望な市場であるが、英国書の占有率は低下している。アメリカの影響が大きい日本で英国書の販売を促進させるためのポイントとして、①英国文化振興会等の機関を利用して引取を活性化する。②在日代理店、輸入業者に対して出版物の情報を迅速に提供する。③英国文化振興会内にショールームを新設したり、展覧会を企画するなど特に日本向けの出版物の Publicity と Promotion を行なう。④日本の近くにストックを置き、郵便は勿論、急を要するものは航空便による供給の可能性を検討し、地理的条件の解決を計る。⑤英国フェアを充実させ、万博へ協力し、再度代表团を訪日させる。

〔序文〕

(1) 日本はアメリカの科学技術の進歩に大きな影響を受け

1 9 6 2 年				1 9 6 7 年			
英 国	368,065冊	£ 188,998	(25.0%)	961,512冊	£ 707,896	(10.3%)	
米 国	930,835冊	£ 588,704	(67.0%)	4,224,762冊	£ 5,453,880	(79.5%)	
	1,474,150冊	£ 878,689	(100%)	6,128,654冊	£ 6,860,729	(100%)	

日本の洋書輸入額は5年間に8倍になっているが、英国からの輸出額は4倍に止っており、その占有率は21.5%から10.3%に下降し更に低下しつつある。

(3) 英国の日本との書籍取引高は£ 1,500,000 で、満足すべきものではない。

(4) 輸入書籍の種類については、統計が得られないが、日本における出版物の分類を見れば、輸入書籍の分野の参考となるであろう。

日本国内における1967年の出版総点数は、24,595点で、その内訳は次の通りである。

ており、アメリカとの交流は盛で、特に青年層にこの傾向が強いので、英国の出版社にとっては難しい市場である。

(2) 日本における洋書の購買意欲は旺盛で、語学力も進んでおり英国に対しては一般に偏見はあまりない。むしろ好意的である。しかし語学的な障壁は無視できない。

(3) 日本出版協会及び各小売店の声としては、英国書の需要が増加することを期待していると同時に、日英間の関係をより深くすることの必要性を認めている。一方、英国大使館、英国文化振興会はこのために最大の努力を払っているが、今後スタッフや資金の面で更に強化する必要を痛感している。又、情報活動を促進することにより科学技術書の販売増進に効果があると考える。

(4) 各出版社の代表者が訪日する機会を持つこと。再度、代表团の訪日を計画することが必要である。

〔市場について〕

(1) 一億の人口を有し発展しつつある市場で、文盲はなく、大多数の人は英語を学習している。国内には400を超える専門研究機関、図書館があり、英国と同様に出版産業は発達している。

(2) 洋書輸入の統計は通関ベースにより算出されているため、正確に把握出来ないが、英国からの輸入は、少なくとも50%が郵便によるものである。輸入書籍の90%は英語の本であり、この割合は増加しつつある。1962年及び1967年の冊数、金額を比較すると次の通りである。

哲学、歴史、社会科学	7,230点 (29.4%)
科学、工学	4,398点 (17.9%)
教科書、児童図書	4,512点 (18.3%)
芸術、語学	1,964点 (8.0%)
文学、小説	6,015点 (24.5%)

(5) 殆ど全分野に亘って洋書の需要はあり、特に要求されているものは、大学、研究機関におけるレベルの高い書籍及び雑誌であって、これらについては値段の点はあまり問題ではない。

(6) 完全に洋書を読みこなす人は比較的限られており、小

説なども英語を研究する目的で読まれる場合も多い。

(7) 質的に優れている絵本は子供よりも美術家、研究者に売れるなど、英国内とは異った需要傾向も見られる。

(8) 辞書、百科事典は大量に輸入され販売されている。

(9) 大学では、社会科学、文学方面で原書がテキストとして屢々使用されるが、教授の指定による場合が多い。

(10) 日本の教育者は英国の教習方法に共鳴しているが、中初等教育用の教科書は文部省によって検定を受けねばならず、日本国内の教科書業者も激しく競合している。

(11) 英語学習用の本は非常によく売れるが、種類が多く、各種のコースに分けた米語の独習用テープなども販売されている。

〔版權等について〕

日本の出版物の約20%は翻訳本で、その中56%が英文からの翻訳であるが、米語の作品が約6割を占めている。約50の日本出版社が翻訳本を出している。

そのほか、日本の著作権の問題に触れ、英語の翻訳にかなりの経費が掛ること、リプリントについては米国の原書からが多いこと、主として大学教科書向きのものがリプリントされており、価格は1/4程度で初版の発行部数は最低2,500部位であることなどが報告されている。また、リプリントの販売については、国内向が30%、インド向20%、フィリピン向15%、その他のアジア地域35%の比率で売れていることなどが報告されている。

〔現状について〕

(1) 日本の出版物について

2,000以上の出版社が毎年約30,000点の新刊書を出版しており、その内、約200社が年間20点以上を出版していること、及び二大取次店を始め、各販売流通組織を説明している。

(2) 輸入書籍について

和書とは異なる販売組織があり、主として61社からなる洋書輸入協会会員によって輸入され、総合的に各分野を取扱う業者と、医学その他専門分野を中心として取扱う業者があり、これらはすべて自社で輸入し小売し、卸売りもする。販売には非常に積極的で、多くの販売員が、大学図書館、教授、その他に on approval システムで販売をしており、店頭で販売する額は外売と比較して少ない。外売促進のためには各社とも独自の目録その他の文献資料作成を活発に行なっており、市場における主導権獲得に努力してい

る。

小売価格の設定に当っては、出版価格からマークアップをしており、英国書は1シリング当り54円を標準としている。

(3) 洋書輸入協会との懇談について

中田理事長代理の説明を次のようにまとめている。

(イ) 科学技術書については値段は才二の問題として、高いレベルのものが望まれている。米国はこの点で科学技術研究の先端に行く日本の研究者の中で高く評価されている。

(ロ) 人文科学の部門ではまだ伸びる可能性がある。

(ハ) 価格の点では、米国よりも値上がりが早いということであるが、これは Scientific Monographs と Journals についていえることで、ポンド切下げによる一時的なものである。

(ニ) 割引率は米国に比べてよくないことが強調された。

(ホ) デザインの点で英国書は米国に比べて沈滞しているので、若い世代にアピールするような配慮も必要である。

(ヘ) 現品取寄せの期間が米国に比べて長いので、品切の期間が長くなる傾向があり、回転資金の面でも問題がある。

(ト) ローカル・ストックについては、割引率の低下、協会員以外の者でも比較的容易に供給を受けられるなどの理由であまり歓迎されない。

(チ) 新刊書の情報が不充分であり、米国出版社は、その点時期的にも内容的にも積極的に情報を提供するので、販売活動に効果的である。

(リ) 郵便料金の割高なことが、仕入原価に影響している。

(ス) 通関手続は貨物便の場合、相当日数がかかっているため、協会としても当局と折衝はしているが、成果は得られない。今後の課題である。

(4) 在日代理店について

問題の多い困難な市場の中で、よく業務を遂行していることを報告。

以上に引続いて、今後の見通し、専門書別の市場調査結果など重要と思われる内容が報告されておりますが、紙面の都合で次号にてお知らせ致します。

——丸善株式会社提供——

海外ニュース

ハーコート社がアカデミック・プレス社を買収か

Harcourt, Brace & World, Inc. は、Academic Pressの株式の70.5%を所有している Walter J. Johnson 夫妻と、両社の合併のためにその株式を投ずることで、原則的に意見が一致した。近く合併は必至と見られる。

ハーコート社は、ジョンソン夫妻が所有しているアカデミック・プレス社の863,260株に対し、約19,000,000ドルに相当する自社の普通株を渡すことになっている。アカデミック・プレス社の残りの361,740株の所有者に対しては、1株当たり29ドルに相当するハーコート社の株が提供される。

合併が成立しない場合でも、ハーコート社は、ジョンソン夫妻の株を約19,000,000ドルの現金または株式で取得することに同意した。

アカデミック・プレスとその子会社 Johnson Reprint Corporation は、独立した出版社として業務を続けることになる。アカデミック・プレス社の創立者であるジョンソン氏は現在の社長の地位に止まることになる。

(Publishers' Weekly 1969年4月21日号より)

マグロー・ヒル社がアメリカン・ヘリテージ社を買収か

McGraw-Hill は American Heritage Publishing Company の買収に乗り出した。4月18日に発表された条件によれば、アメリカン・ヘリテージ社の504,615株の1株につきマグロー・ヒル社の普通株0.55の割合で交換される。現在のマグロー・ヒル社の株価の水準から見れば、この買収は約980万ドルに相当する。この買収は7月1日までに終わるものと予想されている。

アメリカン・ヘリテージ社は1954年に創立され、American Heritage 誌を刊行、1958年には Horizon 誌を創刊、1957年には書籍の出版をも開始し、毎年歴史書を出して来た。1957年から1968年まで同社は約200点、3,300万部の書籍を出版した。また、現在 Houghton Mifflin 社と共同で "The American Heritage Dictionary of the English Language" の編纂を進めており、9月に出版を予定している。

——紀伊国屋書店提供——

ニュース

- 英国 Wm. Collins Sons & Co., より、全社の Eastern Market の Representative は Mr. Li 退職後 Mr. Stevens が復帰していたが、今回 Mr. D. C. Hayes が任命された由通知があった。
- 米国 Yale U. P. の Managing Director, Mr. Chester Keer 4月上旬来日。
- 米国 Wiley社 Mr. Ellis 4月中旬来日。
- 英国 Baillière, Tindall & Cassell Ltd. の Director, Mr. P. R. West 4月中旬来日。
- 米国 Johnson Reprint Corp. の Mr. F. Rappaport 4月下旬来日。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店のご案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

（株）医学書院洋書部 ☎ (814) 5931

A. Rajtha (Editor)

Handbook of Neurochemistry in 7 Volumes

Vol. 1 The Architecture of the Nervous System (4月出版予定)

Vol. 2 Structural Neurochemistry (4月出版予定)

Vol. 3 Metabolic Reactions in the Nervous System (9月出版予定)

Vol. 4 Control Mechanisms in the Nervous System

Vol. 5 Metabolic Turnover in the Nervous System

Vol. 6 Alterations of Chemical Equilibrium in the Nervous System

Vol. 7 Pathological Chemistry of the Nervous System
定価は各巻¥14,000 全7巻予約の際は各巻¥12,000になる予定です。

(Plenum Publishing Corporation, New York)

紀伊国屋書店 ☎ (354) 0131

Books (Selected Titles)

BUTTERWORTHS (丸善と共同) England

- イスラエル国 Israel Program for Scientific Translations, Israel U. P. の Sales Manager, Mr. David B. Wine 4月下旬来日。
- 英国 Sir Isaac Pitman & Sons Ltd. の Managing Director, Mr. G. E. Magness 5月上旬来日。
- 英国 Penguin Books Ltd. の Mr. John Hitchin 5月上旬来日。
- 米国 Wm. S. Hein & Co., Inc. の President, Mr. Wm. S. Hein 5月上旬来日。
- 米国 Feffer & Simons, Inc. の Vice President, Mr. D. B. Kotick 5月上旬来日。
- ハンガリー Kultura 社の Mr. G. Korda 4月中旬来日。

Words and Phrases Legally Defined 2nd Edition, in 5 vols. 各巻 ¥ 5,940

EUROPA PUB. England

International Directory of Computer & Information System Services 1969 ¥ 4,860

PENGUIN BOOKS INC, U. S. A.

The Complete Pelican Shakespeare ¥ 5,000

RAND MCNALLY U. S. A.

(All Titles of Mass Market Books)

START-RIGHT Elf Books 各 ¥ 100

Junior Elf Books 100

Tiny Elf Books 120

START-RIGHT Elf Books 140

Tip Top. Elf Books 140

Big Edition START-RIGHT Elf Books 380

丸善株式会社 ☎ (272) 7211

Kultura (Hungarian Trading Co. for Books and Newspapers)

Proceeding of the Colloquium Information Theory.

Ed. by A. Renyi, 2 Vols. ¥ 7,200

Proceedings of the 3rd Budapest Conference on

Soil Mechanics and Foundation Engineering.

Oct. 15-18, 1968. Ed. by A. Kezdi ¥ 8,000

Proceedings of the 3rd Conference on Dimensioning and Strength Calculation. Ed. by E. Czoboly.

¥ 8,800

Proceedings of the Ninth Conference on the
Silicate Industry, Budapest 21-26 Nov. 1967.

Ed. by F. Tamas. ¥ 9,600

Elsevier Publishing Co.

Nobel Prize Lectures. Literature 1901-1967 ¥ 4,800

E. J. Arnold & Son Ltd., Leeds (England)

Survey of English Dialect.

Introduction Volume. ¥ 1,620

Vols. 1-4, each volume in 3 parts. ¥ 7,900

per vol.

Dialect Maps.

ca. ¥ 11,340

(Total 14 books)

The Macmillan & Co., London

The Collected Writings of J. M. KEYNES.

22 Vols. ca. ¥ 2,160 per vol.

お知らせ

- 次の通り欧文社名の変更がございましたのでお手許の
会員名簿の訂正をお願い致します。

海外出版貿易株式会社

旧 Overseas Publications, Ltd.

新 Kaigai Publications, Ltd.

- 紀伊国屋書店は、このたび日比谷のツイン・タワービ
ル二階に、日比谷店を出店し、5月1日開店披露を行な
いました。

創立記念日

極東書店では、4月23日に如水会館において、創立15周
年記念日の祝賀会を盛大に挙行されました。

21世紀にチャレンジする

AUERBACH

コンピューターのアウエルバッハ



AUERBACH

® 日本販売総代理店

〔株〕ユー・エス・エシアテックカンパニー

本社=東京都港区新橋1-13-12(堤ビル)

電話 東京(591) 5181(代表)

大阪: 341-5291 名古屋: 961-2625

ニューヨーク

アウエルバッハは、新しい情報化社会の重要な役割を果す、
コンピューターのハードウェアからMISを中心とするアプリ
ケーションに至るまでの、総合的なコンサルタントとして、
一般企業及び政府機関のお手伝いをしてまいりました。
すでに国際的な評価を受けております、おなじみの各種レポ
ートに加え、本年度より、更に進んだタイムシェアリング・
システム、病院業務のコンピュータリゼーション等に関するレ
ポートを、近々発行する予定です。

AUERBACH Computer Notebook International	年間購読料 ¥ 110,000
AUERBACH Time Sharing Reports	価格未定
AUERBACH Graphic Processing Reports	¥ 173,000

★その他の刊行物につきましては、弊社までお問い合わせ下さい。

昭和44年 5月 通巻第25号 洋書輸入協会

編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋江戸橋1-15-5 藍沢ビル302号室

☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル

☎ 371-5329